TOSHIBA

東芝デジタルスチルカメラ取扱説明書

形名 PDR-T15

東芝デジタルスチルカメラsora T15（PDR-T15）を安全に、正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

● 取扱説明書をお読みになる前に ●

このたびは東芝デジタルスチルカメラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めのデジタルスチルカメラを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

意匠、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

商標について

・Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
・Macintoshは、Apple computer, Inc.の商標です。
・ACDSee™は、ACD Systems社の商標です。
・SDロゴは商標です。
・その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

著作権についてのご注意

デジタルスチルカメラで記録したものは、個人として楽しむことなどを除いては、著作権法上、権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等行うことはできません。

なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルが記録されたメモリーカード(SDメモリーカード等)の転送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

用語について

Windows 98
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を示します。
Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版を示します。
Windows ME
Microsoft® Windows® ME operating system 日本語版を示します。
Windows XP
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を示します。

以下の付属品が入っていることをご確認ください。不足や品違い、破損などがあった場合は、販売店にご連絡ください。

カメラ本体
（フェースパッド付き）

フェースパッド
（1枚）

ソフトケース

CD-ROM（1枚）
ソフトウェアアプリケーション
USBドライバ（Windows98用）

USBケーブル

スタイラス付き
ネックストラップ

SDカード

単三形ニッケル水素電池
（2本）
（充電してからお使いください。）

充電器

ACコード

取扱説明書
ユーザー登録カード
保証書

（別売）
AC アダプター
フェースパッド
☞ 別売アクセサリー ➲ 60 ページ

● ソフトウェアについて ●

この取扱説明書では同梱されているソフトウェアのインストール方法とソフトウェアアプリケーションの簡単な使い方を説明しています。詳しい使い方は、ソフトウェアアプリケーションのヘルプファイルをご覧ください。
この取扱説明書はお客様がお使いのパソコンの基本的な使用方法に関する知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンの基本的な使用方法については、お使いのパソコンまたは OS の取扱説明書をご覧ください。

付属のソフトウェアについて

付属の CD-ROM には、以下のソフトウェアが収録されています。

・ 画像閲覧ソフトウェア ACDSee
撮影した画像をパソコンで見ることはもちろん、画像の加工や修正もできます。詳しい操作方法はヘルプファイルをご覧ください。
☞ 画像閲覧ソフトをインストールする ➲ 50 ページ
ACDSee とこのカメラ以外の機器との接続は保証しておりません。このカメラ以外の機器との接続、および ACDSee の操作に関しては、ACD Systems 社のオンラインサポートにお問い合わせください。
ACD Systems 社オンラインサポート : OEM@ACDJAPAN.com
・ 動画再生ソフトウェア DirectX
デジタルスチルカメラで撮影した動画ファイルが、 Windows Media Player で再生できない場合にインストールします。
・ USB ドライバ（Windows 98 専用）
付属の USB ケーブルを使用して、カメラとパソコンを接続するときにインストールします。このドライバは Windows 98 専用です。Windows 2000/ME/XP および Macintosh をお使いのお客様は、各 OS の標準ドライバをご使用ください。
☞ カメラをパソコンに接続する ➲ 51 ページ
・ サービス＆サポートファイル
サービスおよびサポートに関する情報が記載されています。
取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。
☞ アフターサービスについて ➲ 66 ページ

ソフトウェアのバージョンアップについて

出荷以降、より良くお使いいただくために、カメラ内部のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
東芝デジタルスチルカメラホームページ： http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

ソフトウェアおよび取扱説明書について

・ 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
・ 付属のソフトウェアおよび取扱説明書は、1 台の機器について使用できます。
・ 付属のソフトウェアおよび取扱説明書により機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
・ 取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

● 安全上のご注意 ●

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示および図記号の説明

表　示	表示の意味
⚠危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 *1 を負うことがあり、かつ、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 *1 を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害 *2 を負うことが想定されるか、または物的損害 *3 の発生が想定されること”を示します。

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
⃠	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震、火災、雷、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身又は権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に関し、当社の故意または重過失による場合を除き、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

ご使用になるとき

⚠警告

異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

異物や水などが機器の内部に入ったときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜け

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

雷が鳴りだしたら電源配線に触れないこと

感電の原因となります。

接触禁止

歩行中、自動車、オートバイなどを運転中に使用しないこと

転倒・交通事故の原因となります。

禁止

⚠警告（つづき）

機器を落としたり、ケースを破損したときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜け

水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。

禁止

金属類や燃えやすい物など異物を内部に入れないこと

火災・感電の原因となります。電池収納部や端子、その他の穴や隙間に、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。

禁止

分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

⚠注意

航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと

航空管制上、使用が制限される場合があります。

指示

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

火災・感電の原因となることがあります。

禁止

車の中など温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

布や布団の上に置いたり、覆ったりしないこと

熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

禁止

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと

コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

指示

落としたり、強い衝撃を与えないこと

火災・感電・故障の原因となることがあります。

禁止

⚠注意（つづき）

お手入れするときは、電池やAC アダプターをはずすこと

取りつけたまま行うと、感電の原因となることがあります。

指示

長期間使用しないときは電池やAC アダプターをはずすこと

火災の原因となることがあります。

指示

目の近くでストロボを発光させないこと

一時的な視力障害の原因となることがあります。

禁止

持ち運ぶときに振り回さないこと

ストラップを持ってカメラをぶらぶらさせると、人や物にぶつけたりしてけが・故障の原因となることがあります。

禁止

液晶モニターに衝撃を与えないこと

破損したり、ガラスが割れたり内部の液がでてくることがあります。内部の液が目に入ったり、体や衣服についたときはきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、その後医師の治療を受けてください。

禁止

⚠注意（つづき）

2年に1度くらいは内部の掃除を販売店に相談すること

指示

機器の内部にほこりがたまると、火災・故障の原因となることがあります。掃除費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

付属のCD-ROMを音楽用CDプレイヤーなどで再生しないこと

禁止

ヘッドフォンやスピーカーを破損したり、耳をいためたりするおそれがあります。

ACアダプターについて

⚠警告

ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

指示

AC100V以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。

⚠警告（つづき）

ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

指示

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

禁止

火災・故障の原因となることがあります。

ACアダプターのACコードは

禁止

●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。

火災・感電の原因となります。

⚠注意

ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないこと

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

⚠注意（つづき）

ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

引っ張り禁止

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

指定のACアダプターを使用すること

指示

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグをコンセントから抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

付属のACアダプターをこのカメラ以外の他の用途に使用しないこと

禁止

このカメラ以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

ACアダプターの電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

電池について

⚠危険

電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないこと

禁止

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

電池をハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないこと

禁止

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

⚠警告

指定された電池を使用すること

指示

指定以外の電池を使用すると、火災・故障・誤動作の原因となります。

電池は幼児の手の届く場所に置かないこと

禁止

電池をお子さまが飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

電池の液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること

指示

そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

⚠注意

電池交換時は、２つの電池全てを新しいものと交換すること

指示

電池の破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災、重大な障害、またはカメラの損傷などの原因となることがあります。
新しい電池とは、リチウム電池の場合は「最近購入した使用推奨期限内の未使用電池」、ニッケル水素の場合は「最近同時に充電した電池」を意味します。

タイプの異なる電池または古い電池と新しい電池を一緒に使用しないこと

禁止

電池の破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災、重大な障害、またはカメラの損傷などの原因となることがあります。

長時間カメラを使用した直後に電池を取り出さないこと

禁止

電池が熱くなっているため、やけどの原因となるおそれがあります。

使えないまたは放電した電池をカメラの中に入れっぱなしにしないこと

禁止

電池の破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災、重大な障害、またはカメラの損傷などの原因となることがあります。

⚠注意（つづき）

電池の極性表示（＋と－の向き）に注意し、正しく入れること

指示

入れ方を間違えると、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用済みの電池は電極カバーをつける、またはプラス（＋）とマイナス（－）にテープをはるなどして保管、廃棄すること

指示

そのまま保管、廃棄すると金属類でのショートにより、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

充電器について

⚠危険

指定された電池以外充電しないこと

指定以外の電池を充電すると、火災・故障・感電の原因となります。

禁止

充電器にドライバやリード線など、異物を挿入しないこと

火災・感電の原因となります。

禁止

⚠警告

充電器に異常が発生したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

電源プラグをコンセントから抜け

充電器を分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。

分解禁止

ぬれた手で充電器の電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

⚠警告（つづき）

充電器の電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

充電器を水がかかる場所や湿気の多い場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

ネックストラップについて

⚠警告

ネックストラップは、幼児や子供の手の届く場所に置かないこと

あやまってストラップを首に巻き付けたりすると、窒息やけがなどの原因となることがあります。

禁止

ネックストラップをお使いのときは、電車や車のドアなどに引っかからないように注意すること

窒息やけがなどの原因となることがあります。

指示

● もくじ ●

準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

はじめに

準備する

撮影する

再生／消去する

パソコンに接続する

その他

付録

● カメラの取り扱いについて ●

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➲ 5 ページ）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

次のような場所での使用や保管は避けてください

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところ
- 高温または低温のところ
- 引火性の高いガスが充満しているところ
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

砂がかからないようにしてください

- 砂はカメラの大敵です。砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
  海辺や砂地、砂ぼこりが起こる場所などでは、特にご注意ください。

結露にご注意ください

- カメラを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
  その場合は電源を切り、1 時間ほどたってからお使いください。また、SD カードに水滴がついたときは、カメラから取り出し、水滴をふき取った後しばらくたってからお使いください。

お手入れするときは

- レンズ、液晶モニター表面などは、傷を防ぐためにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

クレジットカードを近づけないでください

- カメラの前面には磁石が使用されています。クレジットカードなどの磁気カードを近づけないようにご注意ください。データが破壊（消滅）することがあります。

● 電池について ●

推奨電池

カメラの性能を充分に引き出すために下記の電池の使用を推奨します。

- 単三形ニッケル水素電池(充電可能)：Ni-MH1700（付属）または TH-3（東芝製）
  カメラ本体に充電機能はありません。ニッケル水素電池を充電する場合は、付属の充電器をご使用ください。
- 単三形リチウム電池(充電不可)
- CR-V3 リチウム電池パック(充電不可)

推奨電池以外の電池について

単三形マンガン乾電池はご使用になれません。

単三形アルカリ乾電池は応急用として使用できますが、数枚程度の撮影しかできません。また、低温ではご使用になれません。

ご購入の際には十分ご注意ください。

単三形ニッカド電池は、環境への配慮から推奨しておりません。

電池寿命について

電池のメーカーや保存期間、カメラや電池の温度、撮影条件（ストロボ使用の有無等）により、電池寿命は大きく変動します。また、電池の＋極、−極、および電極に接するカメラの端子が汚れておりますと、電流が流れにくくなり、カメラは電池残量がないものと判断してしまいます。電池を出し入れするときには、これらの部分に触らないようにご注意ください。汚れていた場合は、乾いた布などで汚れをふき取ってください。

付属のニッケル水素電池を使用した場合、以下のようになります。

条　　件 ：25℃、ストロボ使用率 100％
撮影間隔 ：30 秒ごとに 1 枚撮影
撮影枚数 ：120 枚
※ここに記載した撮影枚数は参考値です。

電池の上手な使い方

カメラは電源を切った状態でも微弱な電流を消費します。長時間使用しない場合は電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし、日付・時刻などが初期設定に戻りますので、ご使用前に再度設定してください。（電池を 3 時間以上入れておいた場合、電池を取りはずしても約 24 時間設定が保持されます。）寒冷地で使用するときは、カメラや電池を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。

電池の性能は低温時に低下し撮影できる枚数が少なくなりますが、25℃程度の常温に戻ると回復します。

● AC アダプターについて ●

このカメラには、必ず指定の AC アダプター（別売）をご使用ください。それ以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➲ 5 ページ）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

・ AC アダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
・ 接続するときは、コードのプラグをカメラの DC IN 5V 端子にしっかり差し込んでください。それ以外の端子に差し込むと故障の原因となることがあります。
・ 接続コードを抜くときは、カメラの電源を切り、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
・ 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
・ 高温多湿のところでは使用しないでください。
・ 電池動作中に AC アダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
・ AC アダプターは室内専用です。
・ AC アダプターは指定の機器以外には使用しないでください。
・ 使用中、AC アダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
・ 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
・ ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。
・ カメラが動作中に電池または AC アダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。日時を設定し直してください。

仕様

AC アダプター（PDR-AC20）

電源	:	AC 100 ～ 240V　50/60Hz
定格入力容量	:	AC100V 33VA（電気用品安全法）
定格出力	:	DC5V 3A
使用温度	:	0℃～ +40℃
保存温度	:	－ 20℃～ 65℃
最大外形寸法	:	40.0 X 30.5 X 94.2mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	:	約 150g
接続コード長さ	:	約 1.5m
付属品	:	取扱説明書 AC コード

重要 ・付属の AC コードは日本国内向け（AC100 ～ 125V）です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した AC コードをご使用ください。

・当社のニッケル水素電池以外は充電しないでください。
・一度に単三形電池４本または単四形電池２本まで充電可能です。単四形電池を充電する場合は、内側の２つをお使いください。
・ぶつけたり、落としたりした充電器は使用しないでください。修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。
・充電が終わったら、コンセントから抜いてください。
・周囲の温度が約 0℃～ 40℃の範囲で充電してください。

●メンテナンスについて

・定期的に乾いた布で＋（プラス）と－（マイナス）の電極を拭いてください。
・汚れがひどいときは、充電ができない場合があります。
・充電器は砂やほこりを避けて使用または保管してください。
・充電器のプラスチックの部分が汚れたら布を水にひたし、よく絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ご使用の際は、完全に乾くまでお待ちください。また、電極部と電池は、乾いた布だけを使用してください。

●仕様

充電器（PDR-CGR1）

電源	:	AC100 ～ 240V　50/60Hz 5W
定格出力	:	DC1.2V 240mA x 4
最大外形寸法	:	65.0mm x 26.0mm x105.0mm（幅 / 高さ / 奥行き）
本体質量	:	約 85g

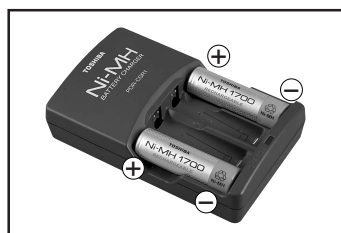
重要　・付属の AC コードは日本国内向け（AC100 ～ 125V）です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した AC コードをご使用ください。

● 充電器について（つづき）●

① 図のように正しい向きで単三形ニッケル水素電池をセットする

② AC コードを充電器に接続する

③ AC コードの電源プラグをコンセントに差し込む

充電中はインジケーターが点灯し、充電が終了すると自動的に消灯します。充電完了時間は約 9 時間です。

・充電中、電池が熱くなる場合がありますが、異常ではありません。
・充電直後、電池の温度が高くなることがあります。取扱いにご注意ください。
・テレビやラジオなどの近くで使用すると、受信障害を引き起こす場合があります。
　その場合は、場所を変えて充電してください。
・暖房や日光が直接当たる場所、または温度が 0℃～ 40℃の範囲を外れる場所での充電は避けてください。
・指定以外の電池を充電しないでください。

●充電池のリサイクルについて

不要になった充電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従ってください。

充電式電池の回収、リサイクル、およびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人　電池工業会

TEL：03-3434-0261

ホームページ：http://www.baj.or.jp

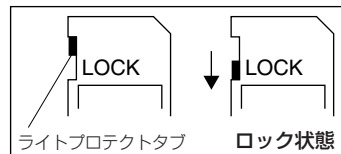
● 付属の SD カードについて ●

このカメラでは、記録媒体に SD メモリーカードを使用しています。取扱説明書の中では SD メモリーカードを「SD カード」とよんでいます。
付属の SD カードの取り扱いについては、以下の点にご注意ください。
このカメラは、SD 規格 Ver.1.01 に準拠しています。

ご使用上の注意

・SD カードは不揮発性の半導体メモリー（NAND 型フラッシュ EEP-ROM）を内蔵しています。通常のご使用で記録したデータが破壊（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破壊（消滅）することがあります。記録されたデータの破壊（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・SD カードはメモリーの一部を SD カードに基づくシステム領域として使用するため、ご使用いただけるメモリー容量は表示の容量より少なくなっています。
・SD カードはフォーマット済みですので、そのままご使用になれます。画像やフォルダを消去するためにフォーマットする場合は、必ずカメラでフォーマットを行ってください。他の機器（パソコン等）でフォーマットを行うと、データの書きこみや読み出しができない、あるいは書きこみ速度が遅くなるなどの不具合が発生することがあります。
・大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。

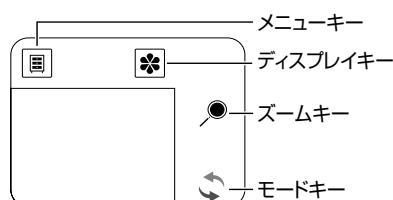
誤消去防止について

大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、書き込み禁止状態（ロック状態）にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

仕様

メモリーの種類	：NAND 型フラッシュメモリー
動作温度	：0 ～ 55℃
保存温度	：－ 20 ～ 65℃
動作 / 保存湿度	：30 ～ 80%RH 上記範囲でも、結露するような温度変化は与えないでください。
外形寸法	：24.0 X 32.0 X 2.1mm （幅 X 奥行き X 高さ）
質量	：約 2g

重要 ・使用可能な市販の SD カードについては、ホームページでご確認ください。
東芝デジタルスチルカメラホームページ：
http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/
2002 年 10 月までに発売された SD カードで検証を行っています。

● タッチパネルについて ●

このカメラは、POWER スイッチおよびシャッターボタン以外の入力操作をタッチパネルによって行います。
タッチパネルの採用で操作性が向上し、外観もボタン類がなくなってすっきりしたデザインとなりました。
また、独立させた４つのキーアイコンに特別な機能を持たせました。それぞれの機能につきましては、下の参照ページをご覧ください。

メモ
・タッチパネルは指でも操作できますが、付属のスタイラスペンを使用すると操作ミスを軽減できます。

重要
・タッチパネルを強く押さえたり爪や硬いもの、先のとがったもので操作しないでください。タッチパネルを傷つけることがあります。
・タッチパネルに格子状の線が見えますが、異常ではありません。

[ ] メニューキー（➲ 37、46、56 ページ）

撮影メニュー、再生メニュー、セットアップメニューを表示します。

撮影メニュー： カラー、ISO 感度、露出補正、ホワイトバランス、画質、プレビュー、液晶の明るさ
再生メニュー： 液晶の明るさ、DPOF、表示の切換、スライドショー、プロテクト
セットアップ： リセット、LANGUAGE、自動モード切換、日時設定、サウンド、タッチセンサー、オートパワーオフ、バージョン情報、フォーマット

[✽] ディスプレイキー（➲ 29、40 ページ）

画面上の文字やアイコンの表示 / 非表示を切り換えます。また、アイコンを表示させているときは、以下の設定を行うことができます。

撮影モード時： シーンモード、ストロボ、セルフタイマー
再生モード時： サムネイル表示、画像の消去

[ ] ズームキー（➲ 35、43 ページ）

ズームを行います。

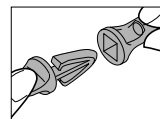
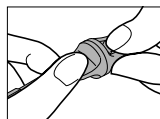
撮影モード時： デジタルズーム撮影を行います。
再生モード時： ズーム再生を行います。

[ ] モードキー（➲ 27 ページ）

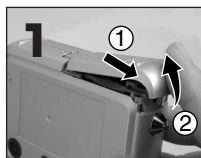
撮影モードと再生モードを切り換えます。

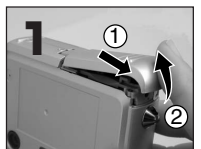
撮影モード時： 再生モードになります。
再生モード時： 撮影モードになります。

● 各部のなまえ ●

セルフタイマーランプ
➲ 34 ページ
ストロボ
➲ 32 ページ
レンズ
ストラップ取付け部
図のようにストラップを
取り付けます。
フェースパッド
➲ 21 ページ
電池/SDカードカバー
電池 ➲ 22 ページ
SDカード ➲ 24 ページ
スタイラス付きネックストラップは、右の図のようにバックルを取りはずすと、スタイラスとして使用できます。
バックルをはめるときは、カチッと音がするまで確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと、はずれてカメラが落下するおそれがあります。
重要 ・カメラ前面には磁石が使用されています。クレジットカードなどの磁気カードを近づけないようにご注意ください。
インジケーター
赤点灯：起動動作中、記録・読み出し中
赤点滅：オートフォーカスエラー、ストロボ充電中、パソコンアクセス中
緑点灯：オートフォーカス正常ロック（手ブレ警告なし）、パソコン接続中
緑点滅：オートフォーカス正常ロック（手ブレ警告あり）、セルフタイマー動作中
シャッターボタン
（タッチセンサー機能付き）
➲ 27、28 ページ
POWER スイッチ
➲ 25 ページ
タッチパネル
➲ 19 ページ
[ ] メニューキー
[ ] ディスプレイキー
[ ] ズームキー
[ ] モードキー
DIGITAL端子
➲ 51 ページ
DC IN 5V端子
➲ 23 ページ
液晶モニター

● フェースパッドを付け替える ●

このカメラはお好みに合わせてフェースパッドを付け替えることができます。フェースパッドはさまざまな種類のものをご用意しておりますので、お近くの販売店でお求めください。フェースパッドを付け替えるときは、カメラを落とさないようにご注意ください。

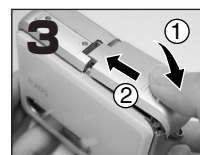
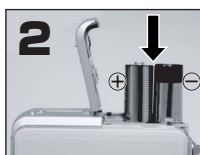
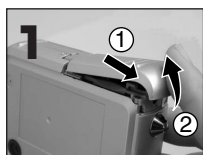
フェースパッドをはずす

1. **電池 /SD カードカバーを開けます。**
   電池 /SD カードカバーをスライドさせ①、開けます②。
2. **フェースパッドの下側からはずします。**
3. **フェースパッド上部のツメをはずします。**

フェースパッドを付ける

1. **電池 /SD カードカバーを開けます。**
   電池 /SD カードカバーをスライドさせ①、開けます②。
2. **フェースパッド上部のツメを本体に掛けます。**
3. **フェースパッドの下側をパチンと音がするまでしっかりと本体にはめます。**
   本体とフェースパッドの間にすき間がないことをご確認ください。
4. **電池 /SD カードカバーを閉めます。**
   電池 /SD カードカバーを閉め①、スライドします②。
   カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

● 電池を入れる・取り出す ●

単三形電池２本を使用します。マンガン電池はご使用になれません。
電池を入れる前に、「電池について」（➲ 14 ページ）をよくお読みください。

電池を入れる

重要
- AC アダプターをつないでいる場合は、電源がオフになっていることをご確認ください。
- 正常な終了動作をしていない状態で電池を装着した場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。

① 電池 /SD カードカバーを開けます。

電池 /SD カードカバーをスライドさせ①、開けます②。

② 図のように正しい向きで電池を入れます。

③ 電池 /SD カードカバーを閉めます。

電池 /SD カードカバーを閉め①、スライドします②。
カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

電池を取り出す

重要
- 電池を取り出すときは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。電源が入った状態で電池を取り出すと、故障や大切なデータが壊れる原因となることがあります。
- 電源が入った状態で電池を取り出すと、設定内容が初期設定に戻る場合があります。

電池残量表示

電源がオンの状態では、液晶モニターに電池残量が表示されます。

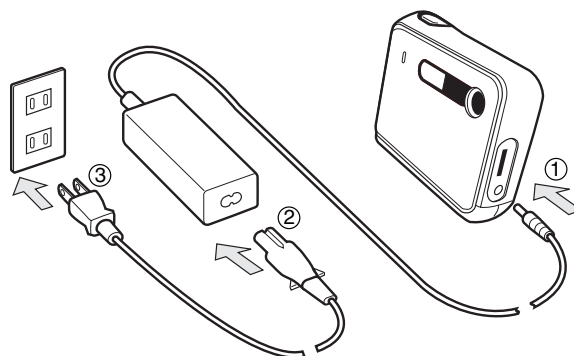
表示				
意味	電池残量十分	電池残量半分以下	電池残量わずか	電池残量なし

重要
- 初めて使うとき、または電池を入れずに放置したときは、日時設定（➲ 26 ページ）を行ってください。

● ACアダプターを使う ●

屋内などコンセントがある場所では、ACアダプター（別売）を使うと長時間使用することができます。また、電池消耗による撮影の失敗やパソコンへのデータ転送の失敗などを防ぐことができます。ACアダプターの取り扱いについては、「ACアダプターについて」（➲ 15ページ）をよくお読みください。

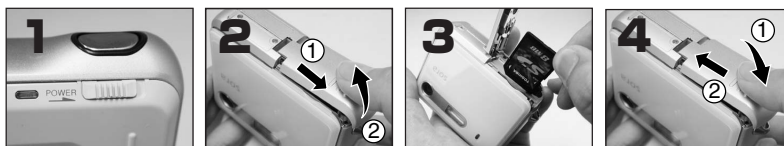
重要

- ACアダプターの抜き差しは必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。電源が入った状態で行うと、電池が入っている状態であっても、故障や大切なデータが壊れる原因となることがあります。
- 電源が入った状態でACアダプターの抜き差しを行うと、設定内容が初期設定に戻る場合があります。
- 正常な終了動作をしていない状態でACアダプターを使用した場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。
- カメラ本体を用いて電池を充電することはできません。ニッケル水素電池を充電する場合は、付属の充電器をご使用ください。

❶ ACアダプターの接続プラグをカメラのDC IN 5V端子に差し込みます。

❷ ACアダプターとACコードを接続します。

❸ ACアダプター電源プラグをコンセントに差し込みます。

● SDカードを入れる・取り出す ●

重要
・SDカードの取り扱いについては、「付属のSDカードについて」（➲18ページ）を必ずお読みください。
・SDカードの抜き差しは必ずカメラの電源を切った状態で行ってください。電源が入っている状態で行うと、故障や大切なデータが壊れる原因となる場合があります。
・このカメラはMultiMediaCard™（マルチメディアカード）には対応しておりません。

SDカードを入れる

① カメラの電源が入っていないことを確認します。

電源が入っている場合は、電源をオフにしてください。
☞ 電源を切る ➲ 25ページ

② 電池/SDカードカバーを開けます。

電池/SDカードカバーをスライドさせ①、開けます②。

③ 図のように正しい向きでSDカードを入れます。

しっかり奥まで差し込んでください。

④ 電池/SDカードカバーを閉めます。

電池/SDカードカバーを閉め①、スライドします②。
カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

SDカードを取り出す

① カメラの電源が入っていないことを確認します。

電源が入っている場合は、電源をオフにしてください。
☞ 電源を切る ➲ 25ページ

② 電池/SDカードカバーを開け、SDカードを取り出します。

SDカードをいったん奥に押しこむとSDカードが少し手前に出てきます。

・SDカードへ記録中（インジケーターが赤点灯中）は、絶対に電池/SDカードカバーを開けたり、SDカードを取り出さないでください。SDカードまたはSDカードのデータが破壊されることがあります。

● 電源を入れる・切る ●

電源を入れる

① 電池と SD カードを入れます。

☞ 電池を入れる（➲ 22 ページ）
☞ SD カードを入れる（➲ 24 ページ）

② POWER スイッチを矢印の方向にスライドします。

インジケーターが点灯し、撮影モードで起動します。

何も操作をせずに一定時間が経過すると、オートパワーオフになります。オートパワーオフとは、電池の消耗を防ぐために電源が切れた状態になる機能です。通常の状態に戻すには、POWER スイッチをスライドしてください。

☞ オートパワーオフ ➲ 57 ページ

重要 ・電源を入れたとき、ストロボ充電に数秒かかることがあります。ストロボ充電中はインジケーターが赤点滅します。ストロボ充電中は撮影できませんので充電が完了してから撮影してください。

電源を切る

① POWER スイッチをスライドします。

● 日付・時刻を合わせる ●

カメラを初めて使用するときや、電池を入れずに放置したときは、日付と時刻を設定してください。

① [ ]メニューキーにタッチします。
メニューアイコンが表示されます。メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

② [ ] セットアップにタッチします。
セットアップメニューが表示されます。メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

③ [ ]、[ ] アイコンにタッチして、日時設定画面を表示させます。

④ 中央の[設定する]にタッチします。

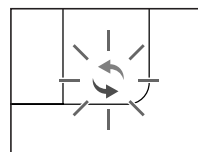
⑤ 変更する部分をタッチして選択し、[+]と[–]で変更します。

⑥ 現在の日時に変更したあと、「OK」にタッチします。
現在の時刻が設定され、日時設定画面に戻ります。

● モードを切り換える（撮影↔再生）●

このカメラで撮影モードと再生モードを切り換えるには、２つの方法があります。

モードキーを使う

モードキーにタッチするたびに、撮影モードと再生モードが切り換わります。

タッチセンサー / 自動モード切換機能を使う

このカメラは、タッチセンサー / 自動モード切換機能を備えています。
ここでタッチセンサー機能と自動モード切換機能について説明します。

● シャッターボタンに触れると・・・（タッチセンサー機能）

再生モードのときに撮影しようとしてシャッターボタンに触れると撮影モードに切り換わります。これを「タッチセンサー機能」といいます。シャッターボタンは人の指が触れたことを感知します。初期設定ではオフになっています。

☞ タッチセンサー ➲ 57 ページ

重要
- タッチセンサー機能を使用するときは素手でシャッターボタンに触れてください。手袋を着用したり、絆創膏を貼った指で触れると正しく動作しないことがあります。
- 人や天候によってはタッチセンサーが感知しにくい場合があります。

● 撮影すると・・・（自動モード切換機能）

撮影後、シャッターボタンから指を離して設定した時間が経過すると再生モードに切り換わります。これを「自動モード切換機能」といいます。切り換え時間は、２秒から 30 秒までお好みに合わせて設定できます。初期設定ではオフになっています。

☞ 自動モード切換 ➲ 56 ページ

「タッチセンサー機能」と「自動モード切換機能」はお好みの設定でご使用ください。

重要
- 電池を入れずに放置した後では、タッチセンサー機能と自動モード切換機能が初期設定（オフ）に戻ることがあります。この場合は、再度設定してください。

● 撮影する ●

① 電池と SD カードをカメラに入れ、電源を入れます。

撮影モードで起動します。

② 液晶モニターを見ながら構図を決めます。

液晶モニターが暗い場合は、明るさ調整を行ってください。

☞ 液晶の明るさ ➲ 39 ページ

③ シャッターボタンを半押しします（ハーフシャッター）。

ハーフシャッターで自動ピント合わせ（オートフォーカス）と自動露出制御を行います。露出とは、絞り（光量調整機構）とシャッタースピードの組み合わせのことです。

ハーフシャッターでピントと露出が適正値でロックされると、高い音が鳴り、シャッタースピードが早く手ブレをするおそれのない場合はインジケーターが緑点灯し、シャッタースピードが遅く手ブレをする可能性が高い場合はインジケーターが緑点滅します。ピントまたは露出が適正値にならなかった場合は、低い音が鳴りインジケーターが赤点滅します。この場合、ピントは無限遠（ストロボ使用時は 1.5m）、露出は一番近い値にロックされます。

④ 半押しの状態からシャッターボタンをさらに押します（フルシャッター）。

撮影されます。撮影するときは、指やストラップがレンズやストロボにかからないようにご注意ください。

ハーフシャッターを行わずにいきなりフルシャッターにすると、ピントと露出がロックするまで撮影されません。シャッターチャンスを逃さないためにも、ハーフシャッターを行うことをおすすめします。

- SD カードへ記録しているときは、インジケーターが赤点灯します。インジケーター点灯中は、電池 /SD カードカバーを開けたり、電池や SD カードを取り出したりしないでください。SD カードや SD カードのデータが破壊される場合があります。
- ストロボ充電に数秒かかることがあります。ストロボ充電中はインジケーターが赤点滅します。ストロボ充電中は撮影できませんので、充電が完了してから撮影してください。
- 撮影された画像は、液晶モニターに映っている範囲より左右が広めに記録されます。

- 自動モード切換が設定されていると、撮影後、シャッターボタンから指を離して設定した時間が経過すると自動的に再生モードに切り換わります。続けて撮影する場合は、自動モード切換を off にしてください。

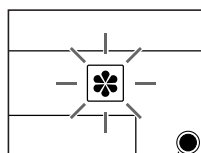
☞ 自動モード切換 ➲ 56 ページ

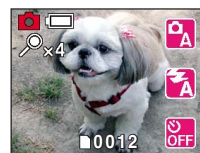
撮影インフォメーションの表示／非表示を切り換える

撮影インフォメーションを表示すると、撮影モードでのカメラの状態がわかります。また、シーンモード、ストロボ、セルフタイマーの設定を変更するときも、撮影インフォメーションを表示してから行います。

☞ シーンモードを設定する ➲ 30 ページ
☞ ストロボを設定する ➲ 32 ページ
☞ セルフタイマーで撮影する ➲ 34 ページ

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27 ページ

① [✽]ディスプレイキーにタッチします。

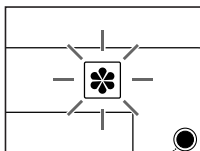
撮影インフォメーションの表示／非表示が切り換わります。

メモ

- 液晶モニターには常に明るい点、暗い点、色がついている点などがある場合がありますが、故障ではありません。また記録される画像には、このような点はありません。
- 被写体の違いにより記録される画像のデータ量が一定ではないため、撮影後、撮影可能枚数が減らない、または２枚分減ることがあります。

● シーンモードを設定する ●

撮影する状況に応じたシーンモードを選択することにより、カメラが最適な設定を自動的に行います。

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27 ページ

① **撮影インフォメーションを表示します。**

[✽] ディスプレイキーにタッチすると、操作インフォメーションの表示／非表示が切り換わります。

② **[ ] シーンモードアイコンにタッチします。**

シーンモード選択アイコンが一覧表示されます。もう一度 [ ] シーンモードアイコンにタッチすると、一覧表示が消えて元の設定が保持されます。

③ **撮影する状況に最適なシーンモードを選び、そのアイコンにタッチします。**

選択したシーンモードアイコンが表示されます。

それぞれのシーンモードについては、31 ページをご覧ください。

メモ ・シーンモード設定は、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働いても解除されません。

● シーンモードを設定する（つづき）●

シーンモードについて

シーンモードには、次の７種類があります。

[ ] オート

特別な設定は行いません。
使用可能なストロボ：すべて

[ ] スポーツ

動きの速い被写体を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 発光禁止

[ ] マクロ

距離が約 15cm ～40cm の被写体を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 発光禁止
[ ] 強制発光

[ ] 風景

風景などを撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 発光禁止

[ ] 夜景

夕暮れや夜景を背景にして人物を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] スローシンクロ

[ ] ポートレート

人物を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 赤目軽減オート
[ ] 赤目軽減強制発光

[ ] 動画

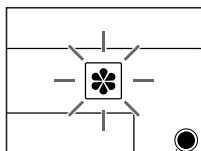
動画を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 発光禁止

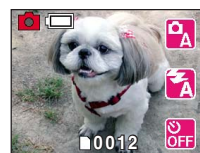
☞ 動画を撮影する ➲ 36 ページ

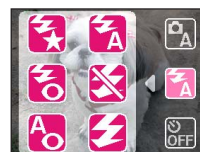
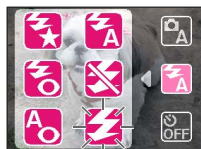
● ストロボを設定する ●

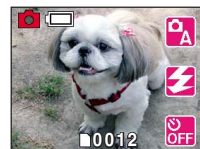
ストロボを設定して撮影します。
撮影する状況に応じてストロボの設定を行ってください。ストロボの光が届く範囲は、約0.4m 〜2.0mです。

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27ページ

① 撮影インフォメーションを表示します。

[✽] ディスプレイキーにタッチすると、撮影インフォメーションの表示／非表示が切り換わります。

② [ ] ストロボアイコンにタッチします。

ストロボ選択アイコンが一覧表示されます。もう一度 [ ] ストロボアイコンにタッチすると、一覧表示が消えて元の設定が保持されます。

③ お好みのストロボ設定を選び、そのアイコンにタッチします。

選択したストロボアイコンが表示されます。

それぞれのストロボ設定については、33ページをご覧ください。

重要

・ストロボ充電に数秒かかることがあります。ストロボ充電中はインジケーターが赤点滅します。ストロボ充電中は撮影できませんので、充電が完了してから撮影してください。

メモ

・背景が暗いところで [ ] スローシンクロで撮影する場合や、暗い場所で [ ] 発光禁止で撮影する場合は、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれ防止のために、台の上などに固定して撮影することをおすすめします。
・ストロボ設定は、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働いても解除されません。

ストロボについて

ストロボ設定には、次の６種類があります。

[ ] オート

状況に応じてストロボが自動的に発光します。

[ ] 発光禁止

ストロボは発光しません。室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボの光が届かない距離での撮影に使用します。

[ ] 強制発光

必ずストロボが発光します。逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影に使用します。

[ ] スローシンクロ

シャッタースピードを遅くして、同時にストロボも発光します。逆光、蛍光灯などの人工照明下や、夜景を背景にした人物など、被写体だけでなく背景もきれいに写したいときに使用します。

[ ] 赤目軽減強制発光

赤目現象とは、暗いところで人物をストロボ撮影した場合に目が赤く写る現象で、ストロボの光が目の中で反射するために起こります。赤目軽減強制発光にすると、ストロボは必ず発光し、さらに赤目現象を軽減する効果があります。赤目軽減は、写される人にカメラへ視線を向けてもらったり、なるべく近づいて撮影したりすると効果があがります。

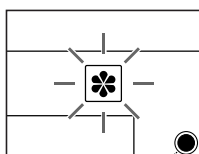
[ ] 赤目軽減オート

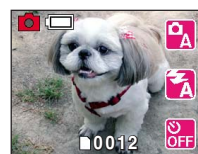
状況に応じて自動発光し、さらに赤目現象を軽減する効果があります。

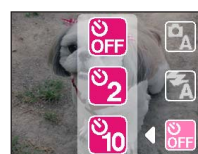
● セルフタイマーで撮影する ●

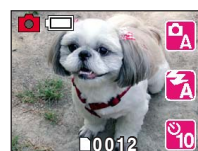
セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押してから 10 秒後または 2 秒後（設定によって変更可能）に自動的に撮影されます。

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27 ページ

① 撮影インフォメーションを表示します。

[✽] ディスプレイキーにタッチすると、撮影インフォメーションの表示／非表示が切り換わります。

② [OFF] セルフタイマーアイコンにタッチします。

セルフタイマー選択アイコンが一覧表示されます。もう一度 [OFF] セルフタイマーアイコンにタッチすると、一覧表示が消えて元の設定が保持されます。

③ お好みのセルフタイマー設定を選び、そのアイコンにタッチします。

選択したストロボアイコンが表示されます。

それぞれのセルフタイマーの設定は以下の通りです。

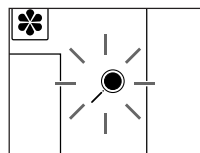
[OFF]：セルフタイマーを設定しません。
[2]：2秒後に撮影されます。
[10]：10秒後に撮影されます。

メモ
・セルフタイマー設定は、セルフタイマーで撮影を行うか、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働くと解除されます。
・動画撮影では、セルフタイマーは使用できません。

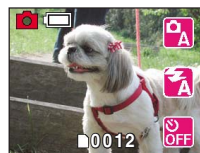
● デジタルズーム撮影する ●

デジタルズームとは、画面中央を拡大して見かけ上の倍率をあげる機能です。
デジタルズームの倍率が上がると、画質が粗くなります。

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27 ページ

❶ [🔍] ズームキーにタッチします。

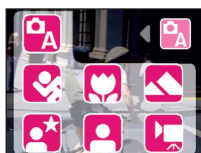
液晶モニターに「x2」と表示され、画面中央が 2 倍に拡大されます。

[🔍] ズームキーを押すと、下の図のように 2 倍→ 4 倍→ズームなしの順で切り換わります。

メモ ・デジタルズームは、電源を切ったり、オートパワーオフ機能が働いたり、モードを変更したり、メニューを表示させると解除されます。

● 動画を撮影する ●

動画を撮影することができます。

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27 ページ

① **シーンモードを[ ] に設定します。**

☞ シーンモードを設定する ➲ 30 ページ

[ ] モードを選ぶと、動画が撮影できる状態になり、液晶モニターに[ ] アイコンと撮影可能時間が表示されます。動画の最長記録時間は、1 分 10 秒です。

② **シャッターボタンを全押しします。**

動画の撮影が始まり、インジケーターが赤色に点灯します。
もう一度シャッターボタンを全押しすると、動画の撮影を終え、画像がSD カードに記録されます。

■ 動画の記録時間について

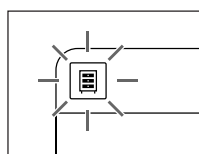
SDカードに記録できる目安は以下の通りです。ただし、動画の最長記録時間は、1 分 10 秒です。

SDカード容量	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB
記録時間	43秒	1分36秒	3分25秒	7分00秒	14分11秒	28分14秒	56分58秒

重要
・SD カードへ画像を記録しているときは、インジケーターが赤色に点灯します。インジケーターが点灯中は、電池 /SD カードカバーを開けないでください。SD カードや SD カードのデータが壊れる場合があります。

メモ
・動画の画像サイズは、320 × 240 です。クオリティの設定はできません。
・シーンモードが [ ] のときは、ストロボ撮影をすることはできません。
・動画は静止画よりも SD カードへの記録に時間がかかります。
・音声は記録されません。
・動画撮影では、セルフタイマーは使用できません。

● 撮影メニューの設定を変更する ●

撮影に関する設定を行います。カラー、露出補正、ホワイトバランスは電源を切ったりオートパワーオフ機能が働くと初期設定に戻ります。

① [ ]メニューキーにタッチします。

メニューアイコンが表示されます。
メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

② [ ] 撮影メニューにタッチします。

撮影メニューが表示されます。
撮影メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

[ ]、[ ] アイコンにタッチすると設定する項目が1つずつスクロールして表示されます。
撮影メニューの項目は以下の通りです。

カラー

撮影する画像のカラーを設定します。

[ ]：カラー画像で撮影します。
[ ]：白黒画像で撮影します。
[ ]：セピア画像で撮影します。

ISO 感度

ISO 感度は数字が増えるほど感度が上がります（少ない光でも明るく撮影できます）が、同時にノイズも増えます。

[100]：ISO100 相当の感度で撮影します。
[200]：ISO100～ISO200 相当の感度で撮影します。
[400]：ISO100～ISO400 相当の感度で撮影します。

● 撮影メニューの設定を変更する（つづき）●

露出補正

このカメラは自動的に露出（絞りとシャッタースピードの組み合わせ）を決定して画像の明るさを調節しますが、画面の中に極端に明るい部分や暗い部分があると、目的の被写体が暗すぎたり明るすぎたりすることがあります。
これを補正するのが露出補正機能です。
［+］、［−］にタッチすると、１つずつ補正値が増減します。補正値の最大値は+3 、最小値は− 3 です。効果のある被写体と設定値は次の通りです。

＋補正

· 白っぽい紙に黒い文字が書かれている印刷物
· 逆光での人物撮影
· スキー場などの明るい場所や反射が強いとき
· 画面内の大部分を空が占めるとき

−補正

· スポットライトを浴びた人物（特に背景が暗いとき）
· 黒っぽい紙に白い文字が書かれた印刷物
· 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低いとき

ホワイトバランス

人間の目は、照明が変化しても白い被写体は白く見えるという順応性を持っています。しかし、カメラなどでは被写体の周辺の光の色に合わせて色のバランスを調整する必要があります。この色の調整のことを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。ここでは、特定の照明で撮影するときのホワイトバランスを設定します。
［<］、［>］で適正なホワイトバランスを選択し、設定します。

［AUTO］：自動で調整します。
［☀］：屋外（はれ）での撮影。
［蛍光灯1］：クールホワイト色蛍光灯下での撮影。
［蛍光灯2］：標準色蛍光灯下での撮影。
［電球］：白熱灯下での撮影。
［☁］：屋外（くもり）での撮影。

● 撮影メニューの設定を変更する（つづき）●

画質

画質を設定します。

[ ]：ハイクオリティ　1600x1200 サイズで高画質。
[ ]：スタンダード　1600x1200 サイズで通常の画質。
[ ]：エコノミー　800x600 サイズで通常の画質。

撮影可能枚数

撮影可能枚数は以下の通りです。

画質モード	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB
ハイクオリティ	6	14	30	62	127	253	511
スタンダード	12	28	59	122	248	496	1000
エコノミー	51	107	224	460	931	1858	3743

被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため撮影可能枚数は必ずしも表の通りではありません。

プレビュー

撮影後のプレビュー画面のオン / オフを設定します。

[ ]：プレビュー画面をオンに設定します。
[ ]：プレビュー画面をオフに設定します。

液晶の明るさ

液晶モニターの明るさを設定します。

[ ]：液晶モニターを暗めに設定します。
[ ]：液晶モニターを通常の明るさに設定します。
[ ]：液晶モニターを明るめに設定します。

● 再生する ●

❶ 電池と SD カードをカメラに入れ、電源を入れます。

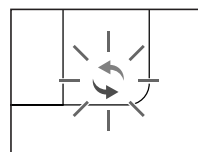
撮影モードで起動します。

❷ 再生モードにします。

[ ] モードキーにタッチします。

☞ モードを切り換える ➲ 27 ページ

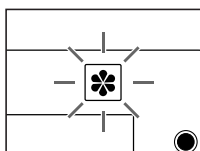
最後に撮影された画像が表示されます。

[ ]、[ ] アイコンで前後の画像を 1 つずつ再生できます。

再生インフォメーションの表示／非表示を切り換える

再生インフォメーションを表示すると、画像の詳細情報が表示されます。また、画像の一覧表示（サムネイル表示）や画像の消去も、再生インフォメーションを表示してから行います。

☞ 画像を一覧表示（サムネイル表示）する ➲ 41 ページ
☞ 画像を消去する ➲ 42 ページ

再生モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27 ページ

❶ [✽] ディスプレイキーにタッチします。

再生インフォメーションの表示／非表示が切り換わります。

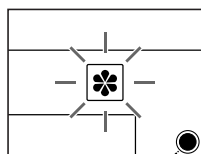
再生モードアイコン
電池残量表示 ➲ 22ページ
サムネイルアイコン ➲ 41ページ
消去アイコン ➲ 42ページ
100-0093
フォルダNo.
画像No.

メモ
- 最後の画面が表示されているときに [ ] アイコンにタッチすると、最初の画像が表示されます。最初の画像が表示されているときに [ ] アイコンにタッチすると、最後の画像が表示されます。
- 再生インフォメーションが表示されていないときは、画像の右端および左端をタッチすると前後の画像を表示することができます。

● 画像を一覧表示(サムネイル表示)する ●

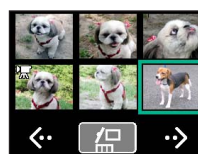
6つの画像を一画面に表示します。これをサムネイル表示といいます。画像が多いとき、目的の画像を素早く探すことができます。

再生モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27ページ

❶ 再生インフォメーションを表示します。

[✽] ディスプレイキーにタッチすると、再生インフォメーションの表示／非表示が切り換わります。

❷ [▣] サムネイルアイコンにタッチします。

画像が一覧表示(サムネイル表示)されます。

画像にタッチするとその画像が選択された状態になります。選択された画像にもう一度タッチすると、その画像が全画面表示になります。

画像が7つ以上ある場合は、[⇠]、[⇢] アイコンにタッチすると、画面がスクロールして他の画像を見ることができます。

動画撮影された画像のサムネイルには、[動画] 動画アイコンが表示されます。

[消去] にタッチすると、選択されている画像を消去することができます。

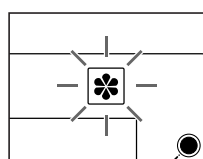
☞ 画像を消去する ➲ 42ページ

> **メモ**
> ・サムネイル表示は電源を切ったり、オートパワーオフ機能が働いたり、モードを変更したり、メニューを表示すると解除されます。

● 画像を消去する ●

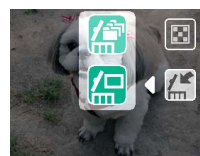
撮影した画像の消去を行います。

再生モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 27 ページ

① 再生インフォメーションを表示します。

[✽] ディスプレイキーにタッチすると、再生インフォメーションの表示／非表示が切り換わります。

② [ ] 消去アイコンにタッチします。

消去選択アイコンが一覧表示されます。もう一度 [ ] 消去アイコンにタッチすると、一覧表示が消えます。

[ ]：全画像消去

すべての画像およびフォルダを消去します。このアイコンにタッチすると画面中央に「すべての画像を消去しますか？」と表示されます。

消去するときは[ ]、消去しないときは[ ]にタッチしてください。[ ]にタッチすると再確認画面が表示されます。

消去を行うときは[**はい**]、行わないときは[**いいえ**]にタッチしてください。

[ ]：１画像消去

現在表示されている画像を消去します。このアイコンにタッチすると画面中央に「この画像を消去しますか？」と表示されます。

消去するときは[ ]、消去しないときは[ ]にタッチしてください。

重要

・ズーム再生は電源を切ったり、オートパワーオフ機能が働いたり、モードを変更したり、メニューを表示させると解除されます。

☞ プロテクト ➲ 47 ページ

・SD カードのライトプロテクトタブが「LOCK」になっているときは、画像の消去ができません。

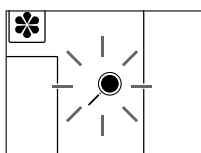
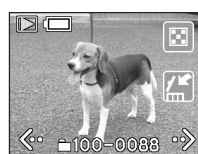
☞ 付属の SD カードについて ➲ 18 ページ

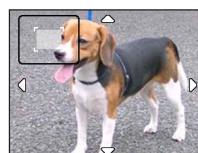
● ズーム再生する ●

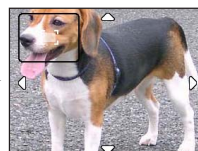
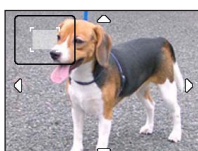
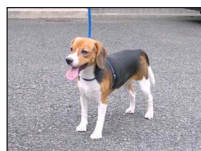
画像を拡大して再生します。

再生モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲27ページ

① [<··]、[··>] アイコンにタッチして拡大したい画像を表示します。

② [ ] ズームキーにタッチします。

2倍に拡大された画像が表示されます。

画面の左上に表示された黒枠は画像全体を示し、その中の四角い部分は現在液晶モニターに表示されている部分を示します。
[△]、[▽]、[◁]、[▷] にタッチすると画面に表示される部分が移動します。

[ ] ズームキーを押すと、下の図のように2倍→4倍→ズームなしの順で切り換わります。

メモ
- ズーム再生は電源を切ったり、オートパワーオフ機能が働いたり、モードを変更したり、メニューを表示させると解除されます。
- このカメラ以外で撮影した画像は、ズーム再生できない場合があります。
- 動画はズーム再生できません。

● 動画を再生する ●

動画撮影した画像を再生します。

再生モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲27ページ

① [‹··]、[··›]アイコンにタッチし、動画撮影された画像を選びます。

動画撮影された画像は、ディスプレイ画面に［ ］アイコンが表示されます。

② ［ ］アイコンにタッチします。

動画の再生が始まります。

再生中に[◀◀]、[▶▶]アイコンにタッチしている間は、早戻し、早送りができます。

メモ
・動画を終わりまで再生すると、最後の画面で一時停止状態になります。
・動画では、ズーム再生、DPOF機能は使用できません。

準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

● 動画を再生する（つづき）●

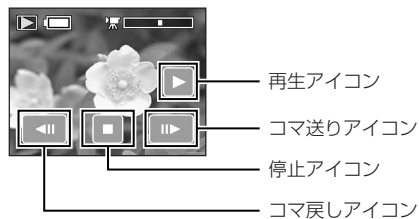
■動画の再生を止める

[■] アイコンにタッチします。

動画の先頭に戻って再生を停止します。

■動画の再生を一時停止する

[II] アイコンにタッチします。

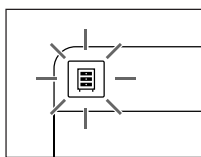
例：一時停止中

ふつうの再生に戻すには、[▶] アイコンにタッチします。

一時停止中に[◀II]、[II▶]アイコンにタッチしている間は、コマ戻し、コマ送りができます。

一時停止中に [■] アイコンにタッチすると、動画の先頭に戻って再生を停止します。

メモ
・再生インフォメーションを非表示にしているときは、液晶モニター上にタッチしても一時停止と再生を切り換えることができます。

● 再生メニューの設定を変更する ●

再生に関する設定を行います。スライドショー以外の設定は、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働いても解除されません。スライドショーは電源を切ると解除されます。

① [▤]メニューキーにタッチします。

メニューアイコンが表示されます。
メニューから抜けるには、[▤]メニューキーにタッチします。

② [▶]再生メニューにタッチします。

再生メニューが表示されます。
再生メニューから抜けるには、[▤]メニューキーにタッチします。

[⇡]、[⇣] アイコンにタッチすると設定する項目が一つずつスクロールして表示されます。
再生メニューの項目は以下の通りです。

液晶の明るさ

液晶モニターの明るさを設定します。

- [●] ：液晶モニターを暗めに設定します。
- [☀] ：液晶モニターを通常の明るさに設定します。
- [☼] ：液晶モニターを明るめに設定します。

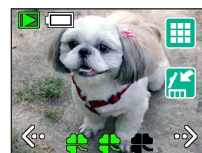
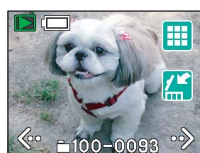
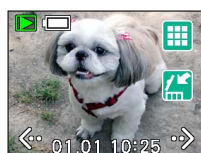
DPOF (Digital Print Order Format)

DPOF とは、プリントのための情報を直接 SD カードなどのメディアに記録することを定めた規格です。DPOF について の詳しい説明は、48 ページをご覧下さい。

☞ DPOF を設定する ➲ 48 ページ

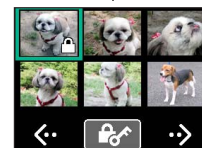
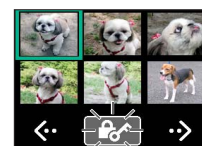
● 再生メニューの設定を変更する（つづき）●

表示の切換

再生画面の下側に表示されるインフォメーションを切り換えます。
[ ] ：撮影した日時を表示させます。
[ ] ：フォルダ番号とファイル番号を表示させます。
[ ] ：画質を表示させます。

スライドショー

SD カードに入っている画像を順番に表示します。
[ ] ：3 秒間隔で画像を順番に表示します。
[ ] ：10 秒間隔で画像を順番に表示します。
スライドショーの実行中に、タッチパネルにタッチすると、スライドショーが解除されます。
スライドショーの実行中は、オートパワーオフ機能が働きません。
☞ オートパワーオフ ➲ 57 ページ

プロテクト

画像の誤消去を防止します。画面中央の[設定する]をタッチすると、設定画面が表示されます。
画像を選択して[ ]にタッチすると画像がプロテクトされます。
画像がプロテクトされると、画面に [ ] プロテクトアイコンが表示されます。フォーマットするとプロテクトされている画像も消去されます。ご注意ください。
プロテクトを解除するには、プロテクトされた画像を選択して[ ]にタッチします。
☞ SD カードをフォーマットする ➲ 58 ページ

準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

● DPOFを設定する ●

DPOF (Digital Print Order Format)

DPOFとは、プリントのための情報を直接SDカードなどのメディアに記録することを定めた規格です。DPOF形式に対応したファイルは、DPOF形式に対応したプリンターやラボプリントサービスで簡単にプリントすることができます。

再生メニューの設定で・・・

☞ 再生メニューの設定を変更する ➲ 46ページ

① **中央の［設定する］にタッチします。**

SDカードの中の画像がサムネイル表示されます。それぞれの画像には、プリントされる枚数が表示されます。

② **画像にタッチして選択します。**

③ **－と＋でプリントする枚数を決めます。**

どの画像も選択されていないときは、設定されているプリント枚数の合計と［オール］が画面の下に表示されます。［オール］にタッチすると全画像を選択できます。

画像が選択されているときは、［クリア］が画面の下に表示されます。［クリア］にタッチすると、選択されている画像のプリント枚数が0になります。１つの画像が選択されているときに、その画像に再びタッチすると、選択が解除されます。
プリントしたい画像すべてに枚数を指定したら［▤］メニューキーにタッチして、再生メニューに戻ってください。

メモ
- 枚数設定は、画像ごとに0枚から99枚の範囲で設定できます。ただし、設定合計枚数は999枚までに限られます。
- このカメラはExif Printに対応しています。
- プリントショップにプリントを依頼するときは、事前にプリント指定枚数をご確認ください。
- 動画はDPOFを設定できません。

● 接続するパソコンについて ●

お使いのパソコンには以下のシステム構成が必要となります。インストールする前にお確かめください。画像を扱う場合、ハードディスクの空き容量は十分に余裕を持ってお使いください。

システムに最小限必要なもの

	Windows をお使いの場合	Macintosh をお使いの場合
CPU	Pentium®以上のプロセッサ	Power PC G3 プロセッサ 266MHz 以上を推奨
OS	Windows98/2000/ME/XP プレインストールパソコン	Mac OS 9.0 以上（Mac OS 9.2 以上を推奨） Mac OS X 10.1 以上（Mac OS X 10.1.3 以上を推奨）
メモリー	64MB 以上	
ハードディスクの空き容量	20MB 以上を推奨 （画像を扱うので、十分な空き容量があることをご確認ください。）	
カラーモニター	256 色 800X600 ドット以上 (32,000 色以上を推奨)	
必要なデバイス	CD-ROM ドライブ・USB ポート標準装備	

MacOS 9.0、MacOS 9.1 をお使いの場合、CarbonLib1.3 以上が必要です。
アップルコンピュータ株式会社のウェブサイトから入手可能です。
全てのパソコンとの接続を保証するものではありません。

● 画像閲覧ソフトをインストールする ●

パソコンで画像を見るためのソフトウェア、「ACDSee」をインストールします。

＜Windows の場合＞

対応 OS は、Windows 98/2000/ME/XP です。

① 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
表示言語を選択する画面が表示されます。

② 「日 本 語」アイコンをクリックします。

③ 「ACDSee for PC and Mac」アイコンをクリックします。
画面の指示にしたがって、ACDSee をインストールしてください。

＜Macintosh の場合＞

対応 OS は、Mac OS 9.0 以上です。

① 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
表示言語を選択する画面が表示されます。

② 「日 本 語」アイコンをクリックします。

③ 「ACDSee for PC and Mac」アイコンをクリックします。
画面の指示にしたがって、ACDSee をインストールしてください。

● カメラをパソコンに接続する ●

付属の USB ケーブルで初めてパソコンと接続するときは、USB ドライバのインストールが必要です。USB ケーブルを接続する場合は端子の向きにご注意ください。

対応 OS は、Windows 98/2000/ME/XP、MacOS 9.0 以上、および Mac OS X 10.1 以上です。
Windows 98 をお使いの場合は、付属の CD-ROM に収録されている USB ドライバをインストールする必要がありますので、下の手順①からお読みください。
Windows 2000/ME/XP および Macintosh をお使いの場合は、各 OS の標準ドライバを使用しますので、下の手順④からお読みください。

<①〜③は Windows 98 をお使いの方だけお読みください>

① 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

表示言語を選択する画面が表示されます。

② 「 日 本 語 」アイコンをクリックします。

③ 「　」アイコンをクリックします。

画面の指示にしたがって、ドライバをインストールしてください。
インストール終了後は、パソコンの再起動を行ってください。

④ カメラの電源を入れます。

⑤ パソコンとカメラを付属の USB ケーブルで接続します。

パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子に USB ケーブルを接続します。

⑥ 画面の指示にしたがって、USB ドライバをインストールします。

Mac OS 9.0 以上、Mac OS X 10.1 以上では、USB Mass Storage Class に準拠したドライバがすでに組み込まれていますので、USB ドライバのインストールは必要ありません。
このカメラは、USB Mass Storage Class に準拠しています。

接続が正常に行われると、カメラはリムーバブルディスクとして認識されます。
USB ケーブルをはずす場合は、使用する OS に応じて取りはずし作業を行ってください。
☞ パソコンからカメラを取りはずす ➲ 54 ページ

● パソコンで画像を見る ●

ACDSee をインストールすると、カメラで撮影した画像を一覧で表示したり、パソコンに保存できます。

撮影した画像をパソコンにコピーする

① パソコンとカメラを USB ケーブルで接続します。

ACDSee が自動的に起動し、カメラ内の SD カードに記録されている画像が一覧表示されます。
USB ケーブルをはずす場合は、使用する OS に応じて取りはずし作業を行ってください。
☞ パソコンからカメラを取りはずす ➲ 54 ページ

② コピーしたい画像を選び、「編集」メニューの「コピー」をクリックします。

③ 画像のコピー先を選び、「編集」メニューの「貼り付け」をクリックします。

画像がコピーされ、選んだ先に表示されます。

重要
・画像転送中にカメラの電源が切れると、データが破壊されるおそれがあります。カメラをパソコンに接続するときは、AC アダプターのご使用をおすすめします。
・画像転送中は、インジケーターが赤点滅します。画像転送中は絶対に USB ケーブルをはずしたり、電池 /SD カードカバーを開けたり、AC アダプターを抜いたりしないでください。

メモ
・カメラとパソコンを接続しているときは、オートパワーオフ機能は働きません。

■ パソコンとカメラを接続しても ACDSee が起動しないときは

Windows をお使いの場合

デスクトップ上の「ACDSee」アイコンをダブルクリックしてください。

Macintosh をお使いの場合

ハードディスク上の「ACDSee」フォルダを開き、「ACDSee」アイコンをダブルクリックしてください。

● パソコンで画像を見る（つづき）●

画像を小さくする

メールに画像を添付して送る場合などのために、ACDSee を使って画像サイズを小さくすることができます。

① ACDSee を起動します。

② 小さくしたい画像をクリックして選びます。

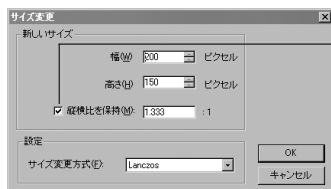
USB ケーブルでカメラと接続している場合、リムーバブルディスクとして表示されます。リムーバブルディスクを指定すれば、カメラに保存されている画像を直接選ぶことができます。

③「ツール」メニューの「編集」をクリックします。

編集画面が表示されます。

④「編集」メニューの「サイズ変更」をクリックします。

サイズ変更画面が表示されます。

⑤「幅」と「高さ」に希望の数字を入力して「ＯＫ」をクリックします。

「縦横比を保持」がチェックされていると、画像の縦横比を変えずに画像サイズの変更を行うことができます。

サイズ変更された画像が表示されます。

⑥「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックします。

⑦ ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。

サイズ変更された画像が保存されます。

重要 ・このカメラは、「カメラにコピー」機能には対応しておりません。

■ 動画を再生する

① ACDSeeで表示された動画ファイル（aviファイル）をダブルクリックします。

動画再生ソフトが起動して、動画を再生します。

■ Direct Xについて

撮影した動画ファイルが、Windows Media Playerで再生できない場合にインストールします。対応OSは、Windows 98/2000/ME/XPです。

① 付属のCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入します。

表示言語を選択する画面が表示されます。

②「日 本 語」アイコンをクリックします。

③「DIRECTX」アイコンをクリックします。

画面の指示にしたがって、Direct Xをインストールしてください。

■ パソコンからカメラを取りはずす

Windows 98をお使いのときは

カメラの電源を切り、USBケーブルをパソコンとカメラから取りはずします。

Windows 2000/ME/XPをお使いのときは

パソコンのデスクトップ上で、右下にあるタスクトレイの「 」をクリックし、メッセージにしたがって操作してください。操作が終了したら、USBケーブルをパソコンとカメラから取りはずします。

Macintoshをお使いのときは

デスクトップ上の「名称未設定」（カメラのフォルダ）をゴミ箱にドラッグアンドドロップし、USBケーブルをカメラとパソコンから取りはずします。

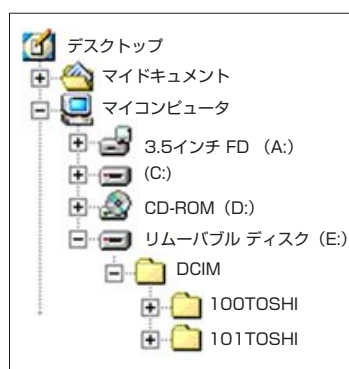
メモ ・USBケーブルをパソコンから取りはずすときは、プラグのPUSHボタンを押しながらゆっくり抜いてください。

● ファイルの構造について ●

カメラとパソコンを接続すると、カメラで撮影した画像は、右の図のように表示されます。（Windows で表示した場合）

[XXXTOSHI]

このカメラで撮影した画像のフォルダであることを示します。

100〜999のフォルダ番号が、状況に応じて割り当てられます。

静止画

ファイル名は PDR_XXXX.jpg です。
（XXXX は 0001 〜 9999 の数字）

拡張子の「.jpg」は JPEG ファイルであることを意味します。

撮影した画像は Exif フォーマットで保存されます。

JPEG

JPEG とは、カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式のことです。圧縮率を選択できますが、圧縮率が高いと画質が劣化します。このカメラでは、設定した画質によって圧縮率が決定します。

JPEG はパソコン用の画像ソフトやインターネット上で広く使われているファイル形式です。

Exif

Exif とは、Exchangeable Image File Format の略で、JEITA（電子情報技術産業協会）に承認されたデジタルスチルカメラ用のカラー静止画像フォーマットのことで、サムネイル画像（一覧画像）や撮影時の設定データを含む JPEG データです。TIFF（画像のフォーマットの 1 つ）や JPEG と互換性があり、一般的なパソコン向け画像処理ソフトウェアで利用することができます。

動画

ファイル名は PDR_XXXX.avi です。（XXXX は 0001 〜 9999 の数字）

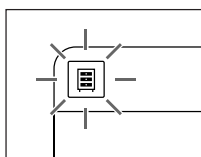
拡張子の「.avi」は AVI 形式のファイルであることを意味します。

AVI

AVI とは、Windows で標準となっている動画のファイル形式のことです。

● カメラの基本設定を変更する ●

準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

カメラの環境設定などを行います。セットアップメニューの設定は、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働いても解除されません。

① [ ] メニューキーにタッチします。

メニューアイコンが表示されます。
メニューから抜けるには、[ ] メニューキーにタッチします。

② [ ] セットアップにタッチします。

セットアップメニューが表示されます。
セットアップメニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

[ ]、[ ] アイコンにタッチすると設定する項目が一つずつスクロールして表示されます。
セットアップメニューの項目は以下の通りです。

リセット

日時、言語以外の設定を工場出荷時の設定に戻します。

LANGUAGE

表示される言語を設定します。
[<]、[>] で言語を選んでください。

自動モード切換

撮影後、シャッターボタンから指を離して設定した時間が経過すると再生モードに切り換わります。これを「自動モード切換機能」といいます。
再生モードに移行する時間を設定してください。2 ～ 30 秒の間で設定できます。
off にすることもできます。
[<]、[>] でお好みの設定時間を選んでください。

自動モード切換
30sec

● カメラの基本設定を変更する（つづき）●

日時設定

日付と時刻を設定します。
日時設定についての詳しい説明は、26 ページをご覧ください。

☞ 日付・時刻を合わせる ➲ 26 ページ

サウンド

キーおよびアイコンをタッチしたときに、操作音のオン／オフを設定します。

[🔊] ：操作音を鳴らします。
[🔇] ：操作音を鳴らしません。

タッチセンサー

再生モードのときに撮影しようとしてシャッターボタンに触れると撮影モードに切り換わります。これを「タッチセンサー機能」といいます。

[☝] ：タッチセンサーをオンにします。
[☝̸] ：タッチセンサーをオフにします。

オートパワーオフ

オートパワーオフとは、一定の時間何も操作しないと電池の消耗を防ぐために電源が切れた状態になる機能です。動作状態に戻すには、POWER スイッチをスライドしてください。

[1min] ：1 分間操作しないとオートパワーオフになります。
[3min] ：3 分間操作しないとオートパワーオフになります。
[5min] ：5 分間操作しないとオートパワーオフになります。

バージョン情報

ファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェアとは、カメラの動作を制御しているソフトウェアのことです。ファームウェアはあらかじめカメラ内に組み込まれています。バージョン情報が表示された状態でタッチパネルにタッチすると、セットアップメニューに戻ります。

フォーマット

SD カードをフォーマット（初期化）します。
フォーマットについての詳しい説明は、58 ページをご覧ください。

☞ SD カードをフォーマットする ➲ 58 ページ

● SDカードをフォーマットする ●

SDカードのフォーマット（初期化）を行います。

セットアップメニュー画面で・・・

☞ カメラの基本設定を変更する ➲ 56ページ

① [⇡]、[⇣] アイコンにタッチしてフォーマット設定画面を表示させます。

② 中央のフォーマットするにタッチします。

中央に「SDカードをフォーマットしますか？」と表示されます。

③ [はい] にタッチします。

フォーマットを行わない場合は、[いいえ] にタッチしてください。

[はい] にタッチすると、中央に「よろしいですか？」と表示されます。

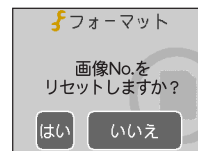
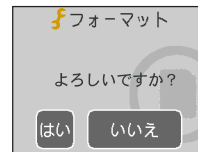
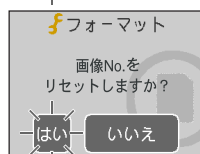
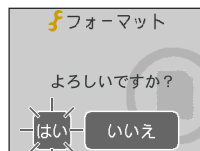
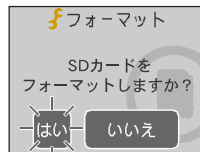
④ [はい] にタッチします。

フォーマットを行わない場合は、[いいえ] にタッチしてください。

[はい] にタッチすると、中央に「画像No. をリセットしますか？」と表示されます。

⑤ [はい] または [いいえ] にタッチします。

[はい] にタッチすると、次回の撮影のときに画像No. が0001から始まります。

重要

・SDカードをフォーマットするとプロテクトされている画像も消去されます。ご注意ください。

・SDカードがロック状態のときは、SDカードのフォーマットができません。

☞ 付属のSDカードについて ➲ 18ページ

● 仕様 ●

型名	PDR-T15
撮像素子	1/2.7 インチ CCD センサー （有効画素数：約 201 万画素、総画素数：約 214 万画素）
撮像感度	ISO100/200/400　相当
レンズ	単焦点レンズ F3.1/F8
焦点距離	f=5.96mm（35mm カメラ換算 38mm 相当）
オートフォーカス	TTL 方式 AF 焦点調整範囲：15cm ～∞　検出方式：コントラスト
測光方式	撮像方式による TTL 測光方式
露出制御方式	プログラム自動露出（露出補正可）
シャッター	1 ～ 1/500 秒
ホワイトバランス	自動 / 切り換え可能（屋外（はれ）、クールホワイト色蛍光灯、標準色蛍光灯、白熱灯、屋外（くもり））
撮影範囲	標準：約 40cm ～∞　マクロ：約 15cm ～∞
セルフタイマー	2 秒 /10 秒切り換え
ストロボ	オート / 赤目軽減オート / 赤目軽減強制発光 / 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ 調光方式：自動調光制御 撮影範囲：約 0.4 ～ 2.0m
日付･時刻	画像データに同時記録（Exif ファイルフォーマット）
自動カレンダー機能	2037 年までは自動調整
液晶モニター	1.6 インチ TFT カラー液晶（61380 画素）
入出力端子	DCIN 端子：DC5V　DIGITAL 端子：USB（Ver.1.1、Mass Storage Class 準拠）
電源	単三形 電池２本（ニッケル水素電池、リチウム電池）、または CR-V3 リチウム電池パック１本 別売の AC アダプター（PDRー AC20）
記録媒体	SD メモリーカード 8/16/32/64/128/256/512MB 対応 SD 規格 Ver.1.01 準拠
圧縮方式	静止画：JPEG 準拠 動画：モーション JPEG 準拠（AVI 形式）（音声なし）
画像ファイルフォーマット	Exif Ver.2.2 準拠
互換ルール	DCF Ver.1.0 準拠
使用環境	動作温度：＋ 5℃～＋ 40℃ 保存温度：－ 20℃～＋ 60℃ 湿度：30 ～ 80% 結露しないこと
外形寸法	85.5 × 72 × 27.9mm （幅 / 高さ / 奥行き）突起部を除く
質量	約 120 g（付属品、電池、SD カード含まず）

●意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

●本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なる場合があります。

● 別売アクセサリー ●

ACアダプターおよびフェースパッドを別売アクセサリーとしてご用意しております。
別売アクセサリーを使うと、より便利に、より楽しくカメラを使うことができます。
別売アクセサリーをお買い求めの際は、ホームページまたはカタログをご覧ください。

● ACアダプター

PDR-AC20
家庭用コンセントでご使用になれます。
ご使用の前に、「ACアダプターについて」（➲15ページ）、「ACアダプターを使う」（➲23ページ）をお読みください。
詳細についてはACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

●フェースパッド

PDR-KFP1（4枚入り）
PDR-KFP2（4枚入り）
PDR-FP1（1枚入り）
～
PDR-FP12（1枚入り）
PDR-FPS1（1枚入り）
PDR-FPS2（1枚入り）

フェースパッドの付け替え方法は、「フェースパッドを付け替える」（➲21ページ）をご覧ください。
弊社ではさまざまなデザインのフェースパッドをご用意しております。
フェースパッドの色・柄・種類につきましては、ホームページでご確認ください。

東芝デジタルスチルカメラホームページ
http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

● 警告メッセージ ●

液晶モニターには、次のような警告を表わすメッセージが表示されます。

メッセージ	意味
(電池アイコン)	電池の残量が半分以下
(電池アイコン)	電池の残量がわずか
(電池アイコン)	電池切れ
⚠ カードがありません	SD カードが入っていません。
⚠ カードが一杯です	SD カードの空き容量がないので、撮影できません。
⚠ カードエラー	SD カードのフォーマット（初期化）が正しく行われていません。 SD カードが壊れています。
⚠ 未フォーマット	SD カードがフォーマットされていません。 （フォーマット実行画面に移ります。）
⚠ 一杯です	フォルダ番号・ファイル番号が最大値になった状態です。
⚠ フォルダエラー	同一番号のフォルダが存在しています。
⚠ 日時設定が完了していません	日時設定を行っていないまたは解除された状態です。
⚠ 非対応のカードです	MultiMediaCard™（マルチメディアカード）が挿入されています。
⚠ データ不一致	このカメラ以外で撮影した画像を再生しようとしています。
⚠ 画像がありません	SD カードのなかに画像が何も入っていません。
⚠ 画像がプロテクトされています	プロテクトされている画像を消去しようとしています。
⚠ カードがプロテクトされています	SD カードがロックされている状態です。
⚠ DPOF エラー	DPOF 情報が異常です。

● Q&A ●

よくいただくご質問をまとめましたので、参考にしてください。

Q シャッターボタンを押してもすぐに撮影できません。

A ハーフシャッターを使っていますか？ このカメラは、ハーフシャッターによって、フォーカスと露出を合わせます。ハーフシャッターを行わずにいきなりフルシャッターにすると、カメラはまず、フォーカスと露出を合わせようとします。そして適正値が見つかったところで撮影を行うので、シャッターボタンを押してから実際に撮影されるまでに時間差が生じます。

シャッターチャンスを逃さないためにも、ハーフシャッターのご使用をおすすめします。ハーフシャッターについては、28 ページの「撮影する」をお読みください。

Q ピントがうまく合わないのですが。

A このカメラでは正確なオートフォーカス機構を採用しておりますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わないことがあります。

- 高速で移動する被写体
- 鏡・車のボディーなど光沢があるもの
- コントラスト（明暗の差）が極端に低いとき（背景と同じ色の服を着ている人など）
- 被写体の手前や後方に物体があるとき（オリの中の動物や木の前の人など）
- 髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- ガラス越しの被写体

また、画面中央にピントを合わせているため、２人並んだ人物のように中央に被写体がない場合は、背景にピントが合ってしまって人物がボケる可能性があります。このようなときは、以下のように撮影を行ってください。

1) ２人の人物のうち、どちらかが画面の中央にくるようにカメラを動かします。
2) この状態でハーフシャッターを行います。（このとき人物にピントが合います）
3) ハーフシャッターの状態のまま、撮影したい構図に戻します。
4) 撮影します。

ピントが合わない場合は、無限遠（ストロボ使用時は約 1.5m ）の位置にピントを固定します。

Q 画像を修正しようとしたのですがうまくいきません。

A せっかく撮影した画像が自分が思っていたよりも明るすぎたり暗すぎたり、色が自分の好みに合っていなかったり。このような経験をお持ちの方もいらっしゃることと思います。デジタルスチルカメラで撮影した画像は自分の好みに合わせて修正することができますが、慣れていないとなかなかうまくいかないものです。しかし、付属の画像閲覧ソフト「ACDSee」には自動修正機能が付いておりますので、どなたでも簡単に画像の修正を行うことができます。

1) ACDSee を起動します。
2) 修正したい画像を開きます。
3)「ツール」メニューの「編集」をクリックします。
編集画面が表示されます。
4)「調整」メニューの「レベル自動調整」をクリックします。
5) 修正した画像を保存します。

Q 電池をはずしてからどのくらいで日時設定などがクリアされるのですか。

A 日時やその他の設定は、カメラ内のバックアップ電池で保持されています。
このバックアップ電池はカメラに電池を入れておいたり、ＡＣアダプターをつないでおくと徐々に充電され、約３時間でフル充電となります。
バックアップ電池がフル充電されている場合、電池やＡＣアダプターをはずしても、日時やその他の設定は約 24 時間保持されます。
電池やＡＣアダプターをはずして長時間経過した場合は設定が初期設定に戻りますので、再度設定してください。
なお、電源を入れたままで電池やＡＣアダプターをはずしたりすると、設定がすぐに初期設定に戻るだけでなく、故障や画像データの破壊の原因となることがありますので、電池やＡＣアダプターをはずす場合は、カメラの電源を切ってから行ってください。

● 故障かな？と思ったら ●

液晶モニターに表示される警告（➲ 61 ページ)、インジケーター（➲ 20 ページ)などを確認するとともに、次の項目をお調べください。

状況	原因	対処方法	ページ
電源が入らない	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。	22
	AC アダプターの電源プラグが、コンセントからはずれている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	23
電源が途中で切れる	マンガン電池を使用している。	推奨電池を使用してください。	14
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。	22
電池の消耗が早い	アルカリ電池を使用している。	推奨電池を使用してください。	14
	温度が極端に低いところで使っている。	電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに入れてください。	14
	端子が汚れている。	電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	14
	電池の寿命	新しい電池と交換してください。	22
シャッターボタンを押しても撮影できない	SD カードが入っていない。	SD カードを入れてください。	24
	SD カードに空き容量がない。	新しい SD カードを入れてください。 撮影した画像を消去して空き容量を増やしてください。	24 42
	SD カードが書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止状態を解除してください。 新しい SD カードと交換してください。	18 24
	SD カードがフォーマットされていない。	SD カードをフォーマットしてください。	58
	SD カードが壊れている。	新しい SD カードと交換してください。	24
	オートパワーオフ機能が働いている。	POWER スイッチをスライドさせてオートパワーオフ状態を解除してください。	57

● 故障かな？と思ったら(つづき) ●

状況	原因	対処方法	ページ
ストロボ撮影ができない	ストロボが発光禁止に設定されている。	発光禁止以外の設定にしてください。	32
	ストロボの充電中にシャッターボタンを押した。	充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	32
ストロボが設定できない	シーンモードが設定されている。	シーンモードの設定をオートなどにしてください。	30
ストロボが発光したのに再生画像が暗い	被写体が遠い。	被写体に近づいてください。	32
再生画像がぼやけている	レンズが汚れている。	レンズを清掃してください。	13
	撮影した画像のピントが合っていない。	被写体の距離に応じて、マクロ撮影を行ってください。	31
SD カードのフォーマットができない	SD カードが書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止状態を解除してください。	18
1 画像消去ができない	画像がプロテクトされている。	画像のプロテクトを解除してください。	47
	SD カードが書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止状態を解除してください。	18
設定した日時や内容が消えている	電池を抜いて放置した。	電池を入れて再設定してください。	26

● アフターサービスについて ●

保証書

保証書はお買い上げいただいた販売店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に、まず取扱説明書をご覧になりながらお調べください。
☞「故障かな？と思ったら」➲ 64ページ
万一故障の場合は、お買い上げいただいた販売店またはモバイル AV サポートセンターにご相談ください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 補修用性能部品について

- 当社は、このカメラの補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください

- 型名 PDR-T15 （sora T15 ）
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご購入年月日（保証書をご覧ください）
- お名前
- ご住所
- 電話番号

付属の CD-ROM の中に、サービスおよびサポートに関する情報が書かれたファイルが収録されています。取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。
ファイルを開くには、CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入して言語選択画面で「日本語」をクリックしたあと、「サービス＆サポート」をクリックしてください。

● さくいん ●

東芝製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
お買い上げの販売店にお申し付けください。

【ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合は】
『東芝家電修理ご相談センター』： 0120-1048-41（フリーダイヤル）
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
電話受付 ： 365日・24時間受付

【デジタルスチルカメラに関するお問い合わせ】
使い方、故障、アプリケーションソフト等
『モバイルAVサポートセンター』
電話番号：0570-05-7000
FAX : 03-3258-0470
受付時間 ： 月〜土 10:00〜20:00（祝祭日、年末年始を除く）

インターネットで情報を . . .
ホームページからサービス・サポートを含む最新情報の発信をしています。
ぜひ、私たちのホームページへアクセスしてください。
ホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。
このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ
（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

株式会社

モバイルAVネットワーク事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号
※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください

T15J-M01

付属のソフトウェア“ACDSee™”に関するお問い合わせ
ACD Systems 社オンラインサポート：OEM@ACDJAPAN.com